

「地方創生整備推進交付金（道の整備事業）」を活用した地域再生計画（愛知県岡崎市）

ものづくり愛知を支え、
より住みやすく安全で活力あるまちづくり計画

作成主体	愛知県岡崎市
区域	岡崎市の全域
計画期間	R2～R6年度



背景

人口減少・少子高齢化社会の到来、環境共生への意識の高まり、地方自治の進展など社会環境が変化している中、将来にわたり高齢者や障がい者も含めたすべての人が快適で安全、安心さらに活力をもって持続して成長しながら暮らせるまちづくりを進めていく必要がある。

目標

市内における観光施設を周遊するルートを確認する市道のバリアフリー化と補完的に広域道路網の一環を形成している市道の整備とネットワーク強化を行うことで経済の発展と観光拠点間のアクセス向上さらに交通安全対策を図る。また、林道整備を進めることで生産性を向上し、自然保護活動を通じた森林・里山が持っている多様な公益的機能の維持・回復や林業従事者の確保を図る。これらにより、地域全体としての魅力が向上することで交流人口の増加や雇用環境の創出を目指す。

【数値目標】

- ・交通事故死傷者数の減少 2,091 件（R2）→ 約5%減少（R6）
- ・創業者数の増加 846人（R2）→ 1,696人（R6）
- ・耐震性の問題のある橋梁数 7橋（R2）→ 0橋（R6）
- ・観光交流人口の増加 95万人（R2）→ 100万人（R6）
- ・森林素材生産量の増加 3,726 m³（R2）→ 5,600 m³（R6）



林業体験



歩道のバリアフリー化(例)



木とのふれあい

取組

- 市道及び林道を総合的に整備

市道 10.3 km、林道 1.4 km

【地方創生整備推進交付金（道の整備事業）（内閣府）】

総事業費 3,243,500千円（うち交付金 1,616,700千円）

- その他の事業

・木の駅プロジェクト、岡崎市産材住宅建設事業費補助、高性能林業機械の導入、乙川リバーフロント地区公民連携まちづくり基本計画、作業道開設・改良事業費補助